



卒業制作透かし彫り「霞ヶ浦の魚」



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部

印 刷
阿竹印刷工業株

第 39 号

継続こそ力となる

校長先生 筆

一意専心 平田 昌 「反省はいつも心の洗濯」
何事をするにも心を集中してやりぬく。
自分の能力を十分に伸ばしなさい。
自分が夢中になれるものを見つけて、「体を鍛え、心を磨く」。

ときどきは自分自身を振りかえり、
きれいに心で、がんばってください。
倉見由比子 水田幸代

一生懸命がんばってみましょ。

竹内 焕子

人の身にな・て考え、行動できろ。そんはずできな中学生にな・て下さ・。山谷千恵子

出発を心からお祝いいたします。
自分自身をしっかり見つめ、心豊かな人にな・てください。 堀 淳子

誰でもやれることで、案外無関心であったり御年齢が高くてどうござります。お互いに実行できる人間にになりましょう。中学校でたくさん友達をつくってください。 小川 美和子

しなかったことが、沢山あるでしょう。同じ日は、再びめぐってきません。御卒業おめでとうございます。毎日努力をわかれ、で下さいね。

森 謙美子 水谷 雅美子
同じ日は、再びめぐってきません。毎日努力をわかれ、で下さいね。

幸せは自分で作るものです
「素直な心」で努力しましょ。 森 洋子

中学生としての自覚を持て、

善悪の判断をしまわりの人の

気持ちを大切にしてほしです。

人の心の痛みがわかる

本当の意味での優しい人にな・てください。

自分のまわりの人を大切にしてくれ・さい。

本間 和子 黒崎 豊美

出航の時がや・てきました。

新しい港へ向けてしきりに力を取・て下さい。 上嶋 真由美

卒業おめでとう!
一期一会、今をと私は信条としている
この言葉を送ります。

細井公博

強 やさしさも輝きも美しさも
いつも体を鍛えることにかけよう。 城 吉基

健康第一 少しおとなになる自覚、そして

夢と希望と勇気を持つて

すばらしい毎日を。 濱野斗志子

やさしさはしてあげるじゃなくて、
やさしさがおのずとほとばしりでる

子にな・て下さい。 松岡節子

卒業おめでとう。君たちと出合ってから的一年間、本当に楽しい充実した日々を過ごすことができた。そんな君たちに感謝の気持ちをこめて、最後の言葉をおくる。

ハードルの授業の時、きれいな「フォーム」でとび越せた人、バランスをくずしながらもどうにかとび越せた人、一度立ち止まってからまた越した人がいた。しかし、途中であきらめる人はいなかった。これから先、君たちには乗り越えなくてはならないハードルがいくつもある。どんなとび越せないものだと決めつけずに、力を持つ努力を忘れないでほしい。

生きる力を持つ君たちと会える時を楽しみにしている。



担任 山中 誠
「生まる力」



卒業おめでとう。先生方や皆さんのおかげで、こんなに大きくなりました。中学生になつても頑張つてね。



卒業おめでとう。六年間のなかで、もやつぱつ六年生が一番よかつた。修学旅行にもう一度行きたい。



卒業おめでとう。精神的、体力的に強くなつて、楽しい中学校生活を送つて欲しい。



卒業おめでとう。六年間で、ありがとうございました。中学校へ行つても頑張りたいです。



卒業おめでとう。精神的、体力的に強くなつて、楽しい中学校生活を送つてください。



卒業おめでとう。六年間の割には六年間よく頑張つたが、元気に登校してつまづきました。先生方、ありがとうございました。中学生になつて中身も外見も伸ばして欲しい。



卒業おめでとう。陽平、卒業おめでとう。中学校生活も持ち前の明るさで困難を乗り切る最後まで頑張りましょう!!



卒業おめでとう。やめると思った水泳を四年間続けました。これからも継続出来る向かを見つけて下さい。一生努力し、頑張ってほしい。

種村 哲男 小学校生活を基に、より一層の勉強にはげみ、多くの友達をつくりたい。

六代 智子 中学校へ行っても羽津北小学校のことを忘れずにがんばっていきたいです。

佐藤 環 中学生になつたから、何ひとにもあきらめず、がんばりぬきたいと思います。

生川賢太郎 私は、六年間大きな病思い出を忘れないで、中学校へ行つてもがんばりたいと思います。

佐藤 慎子 中学生になつたから、何ひとにもあきらめず、がんばりぬきたいと思います。

今市田紀子 中学校も、学校のようだ、楽しいといいな。中学校では勉強も運動も頑張ろう。

藤本 慶子 中学校に行つてから、勉強に、運動に、頑張ろう。

今村 典子 中学校に行っても、何事にもいつしょくけんめいがんばって行きたいと思います。

児玉 留美 転校してきて友達もできだし、とても楽しめたので、もう少し成長してきましたね。

児玉 順子 羽津北小に来て多くの友達ができ、がんばりましたね。中学校に行つてもたくさんの方達を作つていきました。

中村万里子 中学校に行つてから、勉強に、運動に、頑張ろう。

藤本 惠 先生方、ありがとうございました。中学校へ行つてもがんばります。



★3月3日㈯に「6年生を送る会」を行いました。1年生から5年生まで、それぞれ工夫をこらして、6年生に喜んでもらいました。



- 1年 げき(9ひきの子ぶた)
2年 歌(学生時代)
3年 おどり(ランナー)
4年 歌と合奏(友だちシンド
パッド、小さな物語)
5年 クイズ
6年 笛の演奏(メヌエット)

6年生を送る会



活発な討議、学級委員会
一月十五日、一年間の学級委員会としての活動を振り返つて、反省会が、もたらました。
PTA活動の活性化のために、真剣で活発な討議がされ、いろいろと貴重な意見も続出しました。出席された学年部の鈴木先生にも御意見をいただきました。

本音での話し合い

鈴木 真左子

「今販みんなの話し合いから始まる」とをPTA運営の原則にする。やはり活動の芽をつくる、生み出すことのできる基礎集団は、学級であり、学級集会等の活動を通じて学級PTAは、歩一歩育まれていくものと考えられる。(けやき37号より)

羽津の移り変わり
森 博司
大正から昭和にかけて大きく変わった。今で言うところの「ゾート」として、霞ヶ浦に県下有数の海水浴場を作った。(名四国道ぞいブルの駐車場に竜宮場風の門があつた)

昭和4年に競輪場の前身である競馬場を作り、今の霞地区に中京圏の別荘、保養所を誘致し、海岸線の環境整備をした。トライックの少ない当時、土砂等は地元で工面した。まず羽津文化幼稚園前の道路は當時「狭の川」もしくは「沢の川」と呼ばれる米洗川クラスの川で、山の湧き水と別名の家屋田畠の排

水路であった。この川の堤の土砂を利用して、また排水路は「新狭の川」を作り、別名2から3丁目上を通り、米洗川へおとした。それ以外に当時全幅30mあつたと言われている米洗川両堤も今日の姿に削られ、この土砂も霞の工事に利用した。また補強のため桜を植えたが、昭和34年の伊勢湾台風で、木も大きな被害を受け根元が緩み、決壊の恐れがあるために抜いた。また海水浴場は同台風で大きな被害を受けたが、昭和38年の名四国道開通まであった。コンビナートの影響で油が浮いていた記憶がある。(協力 森元三氏)

最後に、広報部の活動の熱心さには頭の下がる思いをするが、もう少し効率的な方法はないのだろうか。この点も、来年度考えていなければならぬと思う。

(松田みどり)
(南部 圭子)

★広報部を担当したこの一年間、PTAの理想に少しでも近づける展開してまいりましたが、みなさんの印象は如何でしたでしょうか。

①事業活動は必ず総括し、反省を加え、次回の活動にうまく生かせる様にする。②PTA活動を高める為に、その源となる「学級PTA」の在り方を再度問い合わせ、誰が何をどうすればよいかを組織と運営の両面から分析。

皆様の御協力に深く感謝致します。(林 茂彦)
★この一年「けやき」発行に携わってきた人々です。

林 茂彦・上野恵美子・榎本慶子
佐藤麻子・江波京子・友森志津子
笹岡ゆき子・栗澤だす子
森 留美・長井義巳・小林正敏
熟田入守(以上P.T.A.) 松田みどり
南部圭子・竹内聰子(以上P.T.A.)

編集後記